

こんにちは 日本共産党 綾部市議会議員

このニュースは私費で発行しています。

大島町梶長16-12
FAX: 42-9558
携帯: 090 2285 8627
メール: kumiko@xi.booo.jp

日本共産党
綾部市議員団
ホームページ



つきがしら 久美子です

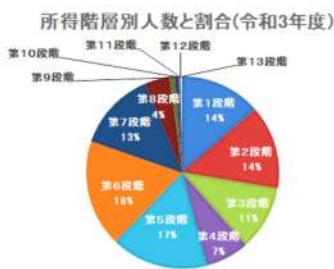
介護保険22年間の推移
2000年に「介護の社会化」としてスタートした介護保険制度。今なお家族の負担は減っていません。

「介護の社会化」は進んだのか



非課税世帯にも年間2〜5万円の保険料が課せら

非課税世帯は右の円グラフで見ると、1〜3段階で全体の4割を占めます。本人のみ非課税は4〜5段階になります。



介護保険制度は2012年間で使にくい制度

5年から制度を大きく変え、軽度者のヘルパー・デイサービス介護保険から外し、ボランティアの導入を可能とした。特養ホーム入所は原則、要介護3以上に制限し、利用料負担も所得に応じるとい理由で、1〜3割負担となっています。

高年齢者の負担が増えていると承知している。一方、低所得者対策もしている。緩和型サービス(軽度者)は、改正前の7割相当の単価を採用し、事業所への説明でも理解いただいている。また、日常的に事業者とも意見交換している。

【質問】 これら介護保険制度は22年間で使にくい制度

【答】 高年齢者の負担が増えていると承知している。一方、低所得者対策もしている。緩和型サービス(軽度者)は、改正前の7割相当の単価を採用し、事業所への説明でも理解いただいている。また、日常的に事業者とも意見交換している。

	2014年度まで	現在
要支援1・2	在宅サービスは介護保険給付で利用できる	ヘルパー・デイサービスが保険外の「総合事業」に移行
要介護1・2	特養ホーム入所対象	特養ホーム入所は原則要介護3以上
利用者負担	所得に関係なく1割負担	一定の所得者は1〜3割負担へ
施設の部屋代・食事代	非課税世帯であれば補助あり(補足給付)	非課税世帯でも預貯金・資産状況により補助なし

左は、介護保険制度の2014年までと、その後、改善された現在の主な制度内容。

私は議員を引退させていただき、吉崎あつ子さんへ交代いたします。
吉崎さんと日本共産党へのお力添えをどうぞよろしく申し上げます。



今までのご支援に感謝申し上げます
搦頭久美子

6月議会での質問内容

【介護保険】
介護保険22年間で「介護の社会化」は進んだのか
22年間の制度改定からみて「介護の社会化」に対する見解は
介護職の不足と処遇改善を
介護サービスは必要十分に届いているか
必要な介護サービスが必要とする人に届いているか、市のチェック機能はどうか
コロナ禍、利用者負担増や施設の体制困難などに対する公的支援を
厚労省が認めた利用者への「特例加算措置」は、公的支援で解決するべき
コロナ感染による介護施設の機能不全を再び起こさない方策を
【高齢者保健福祉】
高齢化が進行しても安心して住み続けられる地域づくりを
市が主導で、10年を見据えた地域づくりを早急に計画すること
地域の中心となる地域包括支援センターへの支援を強化すること
小規模多機能型施設の整備、高齢者共同住宅等、介護予防への支援を
【建設】
JR高津駅階段のスロープ化と高津小員線拡幅及びJR大島踏切の拡幅を
高津駅北側ホーム階段のスロープ化は、市道拡幅と一体工事と聞くとその計画は
JR大島踏切の拡幅について

一緒に配布する議員団ニュースとあわせてお読み下さい

介護予防のため 通所施設や 高齢者共同住宅が必要

要介護3程度までのフォローが介護予防上、重要であり、小規模多機能型の施設や前回紹介した高齢者共同住宅への支援が必要です。また、毎日の配食サービスも重要です。

ところが、現状では施設整備が困難となっている。それなら民家を改修した高齢者共同住宅への支援を求める。また、物価高騰もあり、市の配食サービスの委託料引き上げもするべき。

●市の答弁は

介護予防と生きがいがづくりの推進を重点課題としている。紹介の高齢者共同住宅も、支え合いの中で自らの生活を維持するもので、介護予防の観点からも社会資源の一つである。

今後、多様な生活支援のあり方を検討したい。配食サービスについては自立生活の充実、社会

的孤立の解消を目的に365日実施している。市の物価高騰支援策の中で委託料は判断したい。



←お弁当が届く「配食サービス」

【掲頭】JRR高津踏切は交通量が多いにもかかわらず、車一台しか通行できない。市道高津小貝線の整備とともにJRRに拡幅を要望された。

また、JRR高津駅のホーム北側の階段は、車椅子では通れず、利用者は綾部駅まで乗り越して、一時間電車を待つて福知山行きに乗車して

高津駅で降車。ホーム南側はスロープになっており車椅子で通行が可能。「北側もスロープにして欲しい」の要望がある。(スロープについては一



高津駅ホームの階段(右)とスロープ(左)の写真
市観光交流課が発行した「あやたび」表紙より

「階段に照明をつけて欲しい」「手すりや金属製で、夏は熱く冬は冷たく使えない」と言う「意見もお聞き、要望に加えました。」

●市の答弁は
事業所の判断や利用者の同意を踏まえた上で、介護サービスを受ける利用者の対価としてやむを得ないと考える。

②ショートステイ中、施設でコロナが発生し、自宅に帰れなくなった場合(濃厚接触者として)の滞在費について、何らかの補助は考えられないか。滞りによりサービスの利用限度額を超えると、10割負担になり利用者負担が大き。

●市の答弁は
滞在が延期された場合、介護保険制度を引き続き使うことになり、予定より費用負担が増える事になる。(市は方策を考えたいということ)

●コロナで
介護サービス利用料が高くなった問題

①サービス利用者の減少により、事業所収入が減った場合、国はそこへ手当をすることで利用した人から、利用時間以上の「水増し」加算を認めました。

また、今年6月からは、同様に利用者が減少した場合、利用した人から3%の上乗せ加算を可能とし、徴収する事に対する同意書を提出した方もあります。

コロナによる事業所の減収に対して、利用者負担させるのか、または事業所が減収分を被るのか、そのような選択を迫ることがあつてはならず、公的に補うべきです。

他市では市が補助金を出している例もあり、綾部市もコロナ対策予算の活用で可能ではないか、と質問しました。

JRR大島踏切・高津踏切の拡幅を



【朝の通勤・通学時間帯に踏切交通量の調査】
・車両通行65.9台(うち大型トラック等が32台)
・自転車・徒歩の通学生等36人

大島踏切の交通量調査結果を基に
質問しました

府道綾部大江宮津線の大島踏切は通学路でもあり、拡幅工事が数十年前も前から要望されています。

6月9日(木) 晴れ
午前7時~8時15分の間、後援会の方とともに

●JRR高津踏切を含む
市道高津小貝線の拡幅整備を
●JRR高津踏切の階段のスロープ化を

に大島踏切の交通量調査をしました。

普通車同士でも譲り合いをして踏切を渡っている状況で、通学の小学生は(車が止まってく

るので、走って渡っています。雨の日の自転車通学が危険だという声も複数聞きました。

大島踏切拡幅の状況について質問しました。

【建設部長】西部4地区で府道の整備促進協議会が設立され、大島踏切含め要路整備を行っ

ている。府に確認したところ大きな進捗はないと聞く。市としても引き続きJRRや京都府に

対し要望を行ってきたい。

議員引退の「ごあいさつ」

私は、日本共産党市議員であった、故大島善業さん(大島町)の跡継ぎとして、1998年の補欠選挙で当選させていただきました。その後24年と7ヶ月の間、市会議員をさせていただくとはいいませ

でした。当初は行政用語がわからず、また何千万何億という数字を読むことも一苦勞でした。

それでも看護師として22年間働いた経験から、「誰もが平等に医療介護が受けられる」ために、現場の声を届け行政を動かしたいと思

い働いてきました。議会質問は一度も休まず、この6月議会で97回目になりました。

日本共産党の議員として、だれに忖度することもなく、

参院議員
倉林あき子事務所からもJRRに要望

はつきりものが言え、態度表明できたことを誇りに思っています。

今まで「掲頭さん、頑張つて」と声をかけてもらったことでも励まされました。そのお一人おひとりに感謝申し上げます。

今度は吉崎あつ子さんと交代しますが、引き続きみなさまの要望を共産党議員へつなぎ、橋渡しをいたしますのでお気軽に声をかけてください。

日本共産党と吉崎あつ子さんへのお力添えをよろしくお祈りします。

暑い毎日、みなさまどうぞお身体を大切にお過ごしください。

長い間お世話になりました。ありがとうございます。

掲頭 久美子